

# Apache バージョナルホスト説明書

バーチャルホストという用語は、1 台のマシン上で (www.company1.com and www.company2.com のような) 二つ以上のウェブサイトを扱う運用方法のことを指します。バーチャルホストには、各ウェブサイトに違う IP アドレスがある「IP ベース<sup>1</sup>」と、単一の IP アドレスに複数の名前がある「名前ベース<sup>2</sup>」とがあります。複数のサイトが同じサーバで扱われている、ということはエンドユーザには明らかではありません。

Apache は、特に手を入れない状態で IP ベースのバーチャルホストをサポートした最初のサーバの一つです。バージョン 1.1 以降の Apache では、IP ベースと名前ベースのバーチャルホストの両方をサポートしています。名前ベースのバーチャルホストは、ホストベースあるいは非 IP ベースのバーチャルホストと呼ばれることもあります。

以下のページでは、Apache バージョン 1.3 以降でのバーチャルホストのサポートについての詳細を説明します。

## トピック

バーチャルホストのサポート.....	1
設定ディレクティブ.....	1
URI References.....	2

## 参照

- [mod\\_vhost\\_alias](#)

## バーチャルホストのサポート

---

- 名前ベースのバーチャルホスト<sup>2</sup> (一つの IP アドレスに複数のウェブサイト)
- IP ベースのバーチャルホスト<sup>1</sup> (各ウェブサイトに IP アドレス)
- バーチャルホストの一般的な設定例<sup>3</sup>
- ファイル記述子の限界<sup>4</sup> (または、多過ぎるログファイル)
- 大量のバーチャルホストの動的な設定<sup>5</sup>
- バーチャルホストのマッチングについての詳細<sup>6</sup>

## 設定ディレクティブ

---

- [<VirtualHost>](#)
- [NameVirtualHost](#)
- [ServerName](#)
- [ServerAlias](#)
- [ServerPath](#)

バーチャルホストの設定のデバッグをするには Apache のコマンドラインスイッチ `-t -D DUMP_VHOSTS` が便利です。つまり、以下のコマンドを入力します:

```
/usr/local/apache/bin/httpd -t -D DUMP_VHOSTS
```

---

## Apache バーチャルホスト説明書

---

このコマンドは Apache が設定ファイルをどう解析したかについて出力します。 IP アドレスとサーバ名を注意深く調べれば、設定の間違いを見つける助けになるでしょう。（他のコマンドラインのオプションは [httpd プログラムの説明文書<sup>7</sup>](#) を見てください）

## URI References

---

- [1] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/vhosts/ip-based.html>
- [2] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/vhosts/name-based.html>
- [3] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/vhosts/examples.html>
- [4] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/vhosts/fd-limits.html>
- [5] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/vhosts/mass.html>
- [6] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/vhosts/details.html>
- [7] <http://httpd.apache.org/docs-2.1/programs/httpd.html>